

## 「ラーケーションの日」アンケート調査について（県立学校）

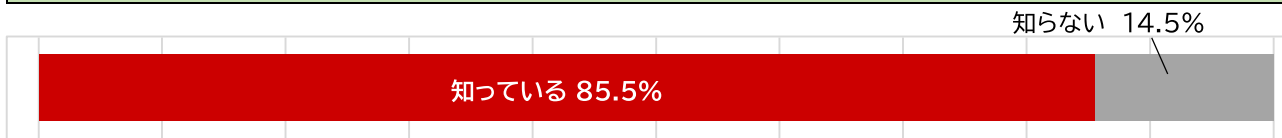
## 生徒

回答者 高校生 19,993 名

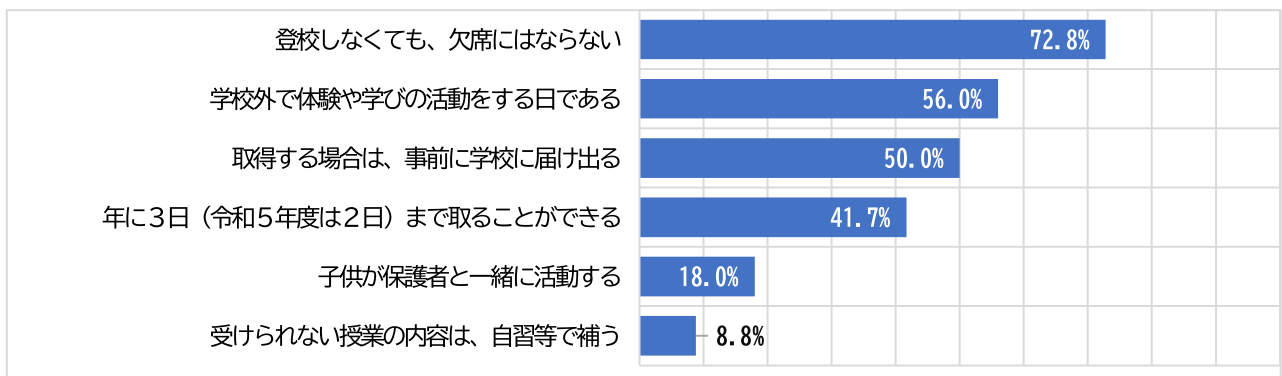
## ■ 「ラーケーションの日」を取得したか



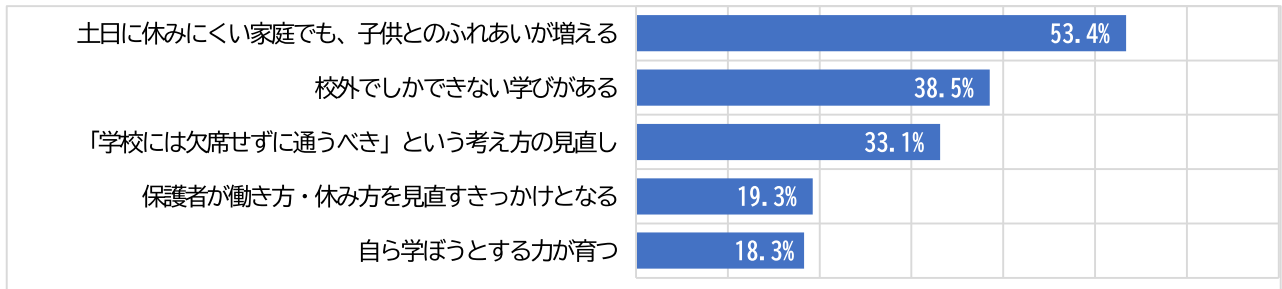
## ■ 「ラーケーションの日」を知っているか



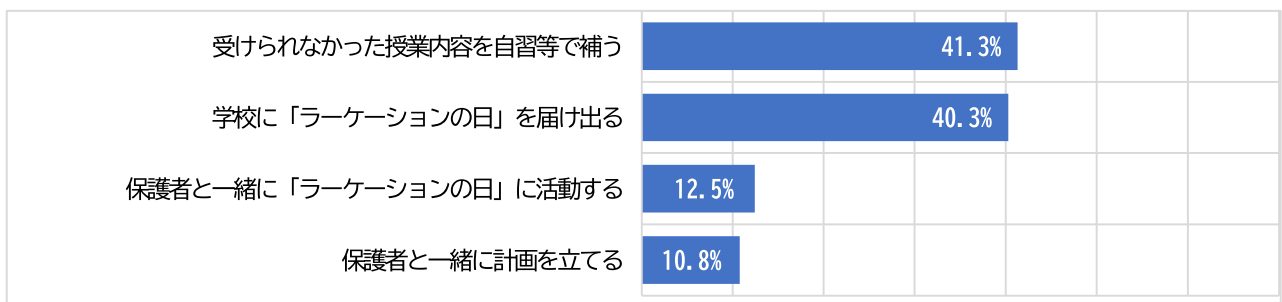
## ■ 「ラーケーションの日」のルールのうち、知っていることは何か（複数回答可）



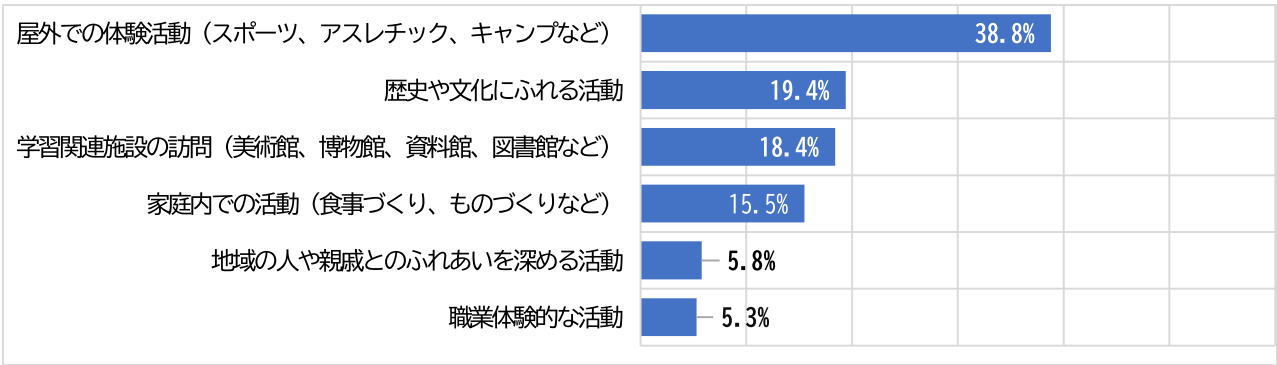
## ■ 「ラーケーションの日」でよいと思うこと（複数回答可）



## ■ 「ラーケーションの日」で負担に感じること（複数回答可）



■ 「ラーケーションの日」にどのような活動をした、またはするつもりか（複数回答可）



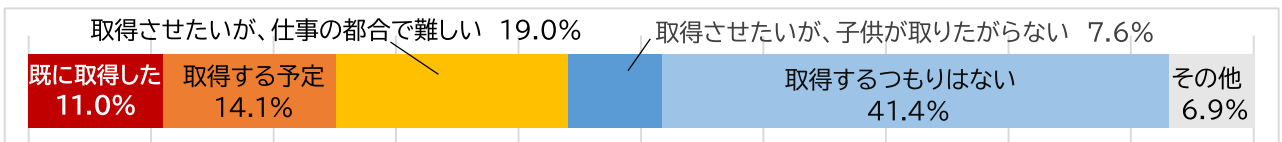
■ 自由記述（一部）

- ・ 学校生活にゆとりができると共に、家族との交流も増えるなど、他にも様々な良い効果が出ていると思う。
- ・ 学校に行かなくてはならないというプレッシャーが強く、あまり学校を楽しめなかったが、ラーケーションという学校を気にしないで楽しむ時間があるだけで家族との会話も広がり、学校も頑張ろうという自信にもつながった。
- ・ 授業や実習の遅れ、部活動に行けないことなどが心配で取れない。
- ・ 親が休めないなので、取ることができない。
- ・ 周りの目などが気になり、取得することの心理的なハードルが少し高いかもしれない。
- ・ 友達同士や一人での活動も認めてほしい。

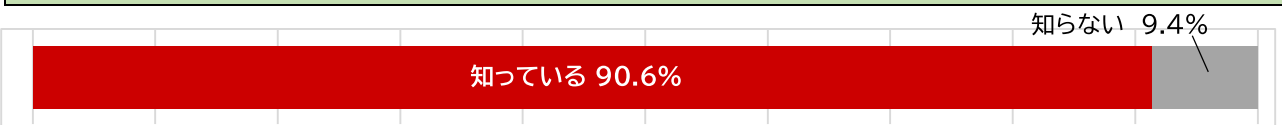
保護者

回答者 高校保護者 17,603名 特別支援学校保護者 1,031名  
合計 18,634名

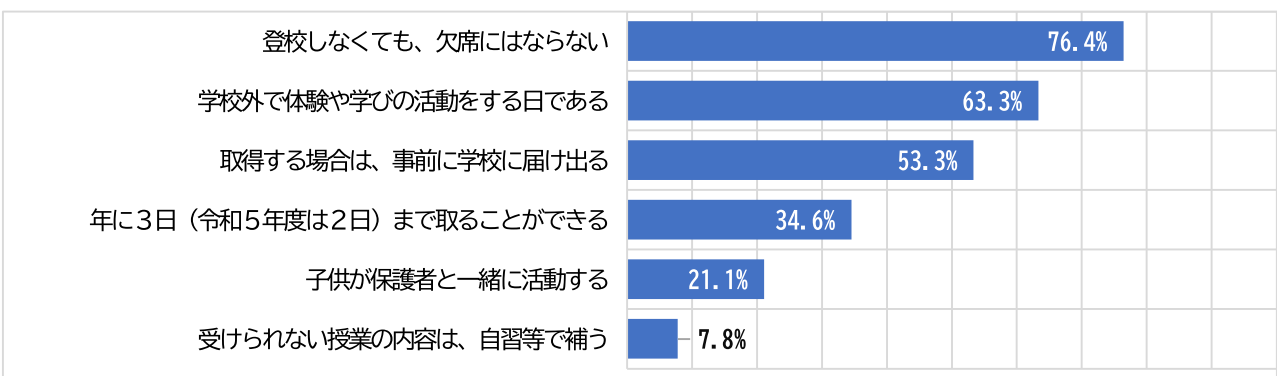
■ 「ラーケーションの日」を取得したか



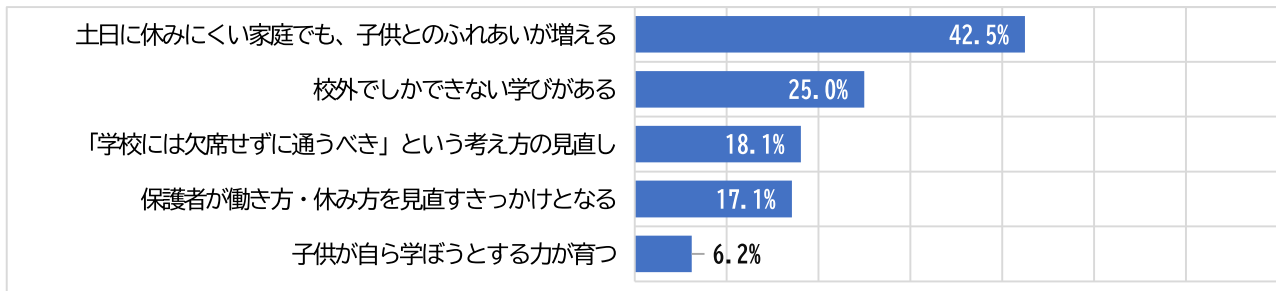
■ 「ラーケーションの日」を知っているか



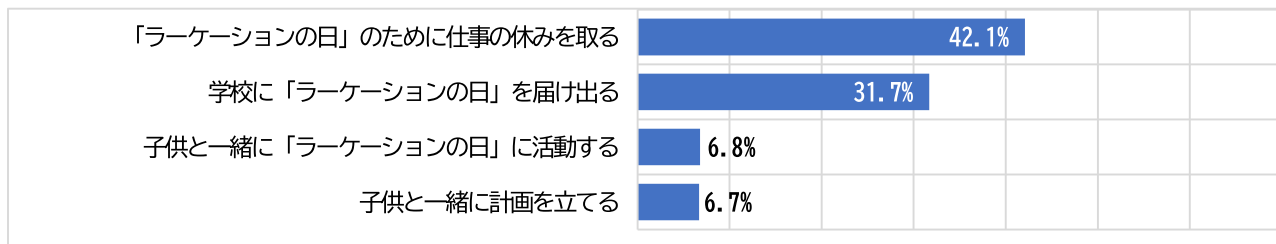
■ 「ラーケーションの日」のルールのうち、知っていることは何か（複数回答可）



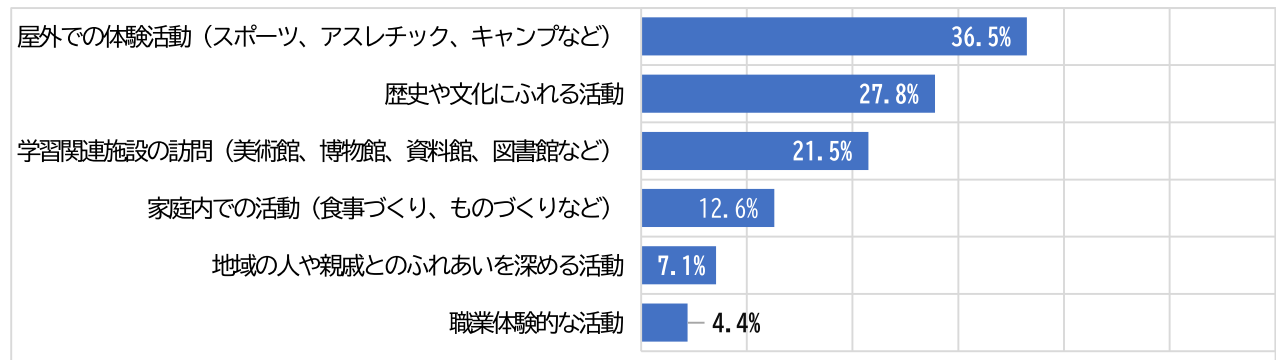
## ■ 「ラーケーションの日」でよいと思うこと（複数回答可）



## ■ 「ラーケーションの日」で負担に感じること（複数回答可）



## ■ 「ラーケーションの日」にどのような活動をした、またはするつもりか（複数回答可）



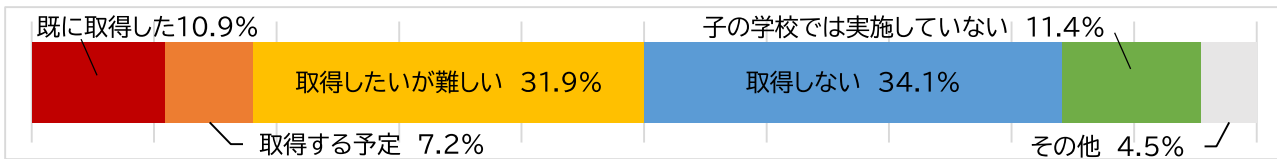
## ■ 自由記述（一部）

- ・ 子供との時間の過ごし方を考えるきっかけや、いろんなことを話すきっかけになった。
- ・ 休み方、学校への通い方、仕事の仕方について考え直す良いきっかけになった。家庭により様々な使い方があってよい。
- ・ 親と行動する機会が少ない高校生こそ、より取得する意義があると感じた。
- ・ 子供や保護者が日常を見直すことで、子供が社会性を身につける、視野を広げる等につながることを期待する。
- ・ とても良い取組であると思うが、子供が授業や実習、部活があるからといって取りたがらない。
- ・ 子供同士又は一人で計画させ、大学見学や観劇、スポーツ教室、ボランティア活動をする事なども認めてはどうか。
- ・ 勤務先の理解がないと休めない。企業への周知が不足している。

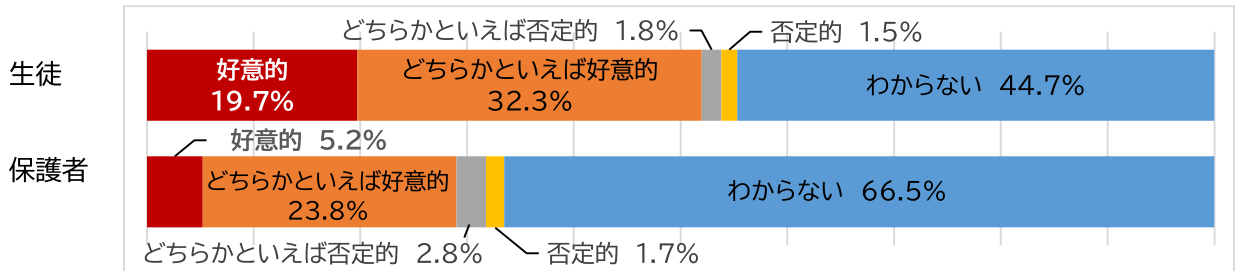
# 教職員

**回答者** 校長・教頭 219名 教諭 2,475名 実習助手 140名  
事務職員 58名 講師 288名 その他 156名 合計 3,336名

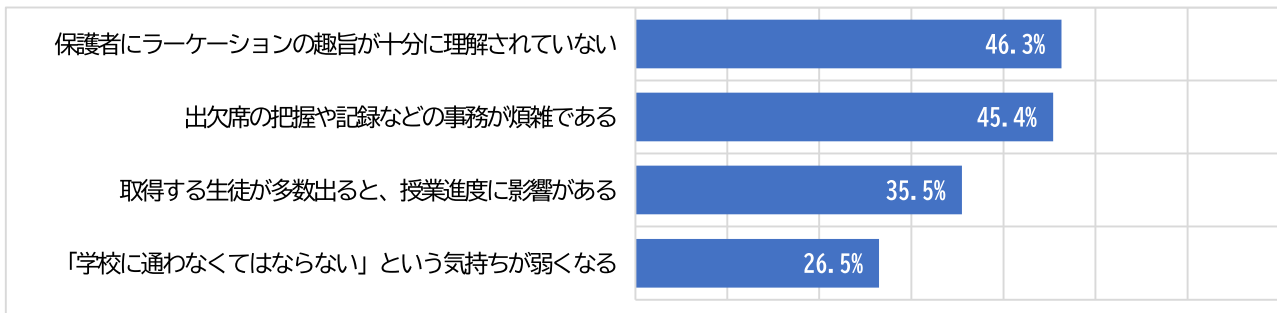
## ■ 自分の子の「ラーケーションの日」のために年休を取得したか



## ■ 教職員が感じた児童生徒・保護者の様子



## ■ 「ラーケーションの日」の課題（複数回答可）



# 学 校

**回答数** 高校 149校 特別支援学校 29校  
合計 178校

## ■ 「ラーケーションの日」取得状況

高等学校	取得率※（平均取得日数）	特別支援学校	取得率（平均取得日数）
1年生	6.4%（1.3日）	小学部	12.9%（1.3日）
2年生	7.6%（1.3日）	中学部	8.8%（1.3日）
3年生	9.1%（1.4日）	高等部	9.4%（1.2日）
4年生	8.0%（1.4日）	計	11.2%（1.3日）
計	7.7%（1.3日）		

※取得率:全校児童生徒のうち、「ラーケーションの日」を取得した児童生徒の割合